

投稿日:2020年05月02日

タイトル:たのしいハケ岳 ～ハケ岳自然教室 カラマツ①



こんにちは 本日ハケ岳はとっても“暑い”です。 風なく正午の気温 26.5℃湿度 18%

ハケ岳の「春」の様子をこちらのブログでは紹介してきたところですが今回より、新しい試みとして「たのしいハケ岳」シリーズを展開してみたいと思います。

コロナウィルスの感染防止で自宅待機が長引きホント「辛抱」の時期はいつ明けるのかなと思いますよね。安全が確認されて再開を待つ間こちらで ～ハケ岳自然教室 を始めてみましょう。施設には何人もの人が働いています。それぞれの知識を順にお伝え出来たらと思っております。クイズも入れますよ～

今回、お題は「カラマツ」 名前を聞いたことのある人はいますか??少年自然の家周辺にはとってもたくさんの木が生えています。

このカラマツは漢字で「唐松」(中国の「唐絵」の木に似ているから)または「落葉松」と書きます。普通の赤松などは常緑針葉樹(冬でも落葉しない)なのですが、字のように冬になると紅葉(きいろ)してそ

の後葉が落ちて春に新芽が出ます。多くは戦後、緑化運動などで植林された「人工林」です。成長が早く長野県では特に多かったようです。

私たちの暮らしには木材が多く使われているのですがこの材は乾燥途中にねじれ等がおきるのでいままで多くは集成材加工などされていました。

近年、乾燥技術が進み、東京 2020 オリンピック新国立競技場の大屋根材に採用されました。 ハケ岳産の材も含まれているかもしれないですね、、

(ま)